

- /// // // // // ★ 目次 ★ ☆ 彡 /// // // // //

- ・ 全国介護事業者連盟からのお知らせ
- ・ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース
- ・ 介護・障害福祉ニュース



全国介護事業者連盟からのお知らせ

茨城県支部長挨拶

このたび、茨城県支部の支部長を務めさせていただくことになりました、山崎晴生と申します。

茨城県小美玉市でデイサービスセンターアークハビリス（共生型サービス）、ケアプランセンターみどりの風を運営しております。介護の現場に携わって 25 年以上、ご利用者やご家族の笑顔を支えることを何よりのやりがいに、地域とともに小規模ながら歩んでまいりました。

また現在は小美玉市議会議員として、現場と行政の橋渡しを担い、課題解決や介護人材の育成、デジタル技術を活用した新しい福祉の形づくりにも取り組んでおります。現場の実感と行政の視点、その両方を生かしながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めたいと考えています。

「現場から施策へ、そして地域へ」会員の皆さまと共に歩む、温かい支部を目指してまいります。日々の仕事の中で感じる喜びや悩みを気軽に共有し合い、支え合えるつながりを大切にしていきます。

全国の会員の皆さまとも交流を深めながら、茨城県から元気を発信してまいります。

どうぞこれからも、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

山崎 晴生（やまざき はるお）

有限会社シニアライフ 代表

小美玉市市議会議員

一般社団法人全国介護事業者連盟 北関東・甲信越ブロック支部 ブロック幹事

一般社団法人全国介護事業者連盟 茨城県支部 支部長

◆自由民主党 政務調査会 社会保障制度調査会 介護委員会に出席し、『介護保険制度改正 介護分野の物価高・賃金対応について』意見提言を行いました（2025 年 10 月 17 日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/kaigoinkai20251017.pdf>

◆厚生労働省 令和 6 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和 7 年度調査）

「介護現場における生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくりに資する調査研究事業」（アンケート調査ご協力のお願い）

※アンケートの調査票（はがき）が届いた事業所におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<https://dl.nx1k.jp/ac8e6f3e-4d53-439e-b946-578d0ba884ee>

◆「緊急！介護現場の幅広い職種の賃上げ実現のための賃上げ状況調査（速報）」が公表されました（2025 年 10 月 17 日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/zenroukentyouusa20251017.pdf>

◆「障害福祉現場の賃上げ状況調査」における調査結果と提言・要望が公表されました（2025 年 10 月 21 日）

<https://shougai.kaiziren.or.jp/wp-content/uploads/2025/10/shakyou20251024.pdf>

◆ビジネスマッチングフェア～特別商談会 2025～

主催：ATC エイジレスセンター

日時：2025 年 11 月 6 日（木）12:50～15:30

下記URLよりお申し込みください

<https://www.ageless.gr.jp/seminar/4971/>

【全国介護事業者連盟動向】

- 10月14日 第20回 障害福祉事業部会役員会の開催（東京都 オンライン）
- 10月15日 宮崎県支部・障害福祉事業部会宮崎県支部 幹事会の開催（宮崎県 オンライン）
- 10月15日 大分県支部主催『事業所リーダー向け勉強会&意見提言フォーラム』の開催
- 10月16日 障害福祉事業部会大阪府支部 幹事会の開催（大阪府 オンライン）
- 10月17日 厚生労働省委託事業「事業者・自治体間の障害福祉関係手続の共通化に向けた調査・要件定義等委託事業」第3回検討会に牛島奈応子 障害福祉事業部会役員が出席（オンライン）
- 10月17日 佐賀県支部・障害福祉事業部会佐賀県支部 幹事会の開催（オンライン）
- 10月17日 岐阜県支部・障害福祉事業部会岐阜県支部 幹事会の開催（岐阜県 オンライン）
- 10月22日 自由民主党 「第25回 地域の介護と福祉を考える参議院議員の会」に出席し、『物価高対策および処遇改善』について意見提言を実施（東京都）
- 10月22日 障害福祉事業部会島根県支部 幹事会の開催（オンライン）
- 10月23日 第6回集合住宅における終末期ケア在り方検討部会の開催（東京都 オンライン）
- 10月23日 障害福祉事業部会新潟県支部 幹事会の開催（オンライン）
- 10月23日 熊本県支部・障害福祉事業部会熊本県支部 幹事会の開催（熊本県 オンライン）
- 10月24日 静岡県支部 幹事会の開催（静岡県）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

社会保障審議会障害者部会（第151回）の資料について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_64884.html

第25回規制改革推進会議

<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/committee/251016/agenda.html>

第5回社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会

<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/001580748.pdf>

「介護情報基盤ポータル」の機能追加及び介護事業所等への支援策について

<https://www.mhlw.go.jp/content/001581106.pdf>

厚生労働省 令和7年度最低賃金額の改定及び各種賃上げ支援施策に関する周知・広報の実施等について（協力依頼）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/kourou20251001.pdf>

介護分野の行政手続に関する簡素化・利便性向上に係る要望受付フォーム

https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/kaigo_hotline



■ 介護・障害福祉ニュース

行政手続き簡素化の要望窓口を周知 厚労省、活用を呼びかけ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41128/>

障害福祉サービス費が「急伸」 厚労省が指摘 「制度の持続性の確保へ検討が必要」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41240/>

厚労省、就労継続支援の指定・指導ガイドライン案 サービスの質確保へチェック強化

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41217/>

介護福祉士「実務者研修」、時間数を一部免除へ 厚労省 社会福祉士・保育士など対象

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41230/>

地域包括支援センターにBCP義務化 厚労省案 災害多発で平時からの備え強化

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41155/>

医療・介護現場への補助金 上野厚労相「補正予算案に盛り込む」具体策の検討を加速

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41301/>

高市首相、医療・介護現場に補助金支給 物価高対策で早期支援「いま手をつけなければ間に合わない」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41271/>

介護人材確保へ地域プラットフォームを制度化 厚労省方針 関係者が具体策を共同展開

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41249/>

介護情報基盤の導入支援の助成金、申請受け付け開始 全国の事業所が対象 厚労省通知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41208/>

過疎地の介護サービスを弾力運用 厚労省、新類型の特例を創設 人員配置基準など緩和スキーム提案

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41047/>



賛助会員広告【株式会社 OptFit】



《コストパフォーマンスに優れた AI 見守りカメラ「KaigoDX」》

株式会社 OptFit は「高コスパ」「使いやすい」「高性能 AI 検知」を叶える AI 見守りカメラを提供いたします。

【介護施設用 AI 見守りカメラ「KaigoDX」】

<https://x.gd/4rbRS0>

介護・福祉施設向けに開発された AI 見守りカメラ KaigoDX は「低価格」「使いやすさ」「高精度 AI 検知」の三拍子が揃った次世代型ソリューションです。必要な AI 検知機能だけを選んで導入できる柔軟性が特徴で、各施設のニーズにあった最適な運用が可能。コストを抑えつつ、現場の業務効率化とご利用様の QOL 向上を同時に実現します。人手不足が深刻化する介護現場において、DX の力で職員様もご利用様も笑顔になれる環境づくりに貢献します。

[お問い合わせはこちら]

<https://x.gd/RHJ0v>



編集後記

ACP に不可欠な本人の意思確認 家族や医師よりも介護職が適任

先日開催された日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会内の ACP（人生会議）に関するセッションで「医師が ACP に関わることの問題点」を指摘する声が複数上がりました。「医師の意見が最終結論になりがち」「延命治療など現実的な話しかしない」などです。在宅医からも「医師は本人の日常生活や性格を十分に把握していない」と、医師の役割には限界があるとの発言がありました。

また、一般市民からは「家族だと逆に本音が言えない」という声も出ました。では、誰ならば本音を言えるのでしょうか。参加者が口にしたのはケアマネジャーや介護職、看護師でした。こうした人たちが日常接する中で、本人から死生観などがポロリと出てくることがあります。それを上手に拾い上げて家族や医師などにつなぐ役割を果たせるのが介護職です。

多忙な中で個々の利用者に向き合う時間はあまり無いかもしれません。

しかし介護職には絶対に必要な意識・スキルではないでしょうか。

参考↓

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

※2025 年 2 月 1 日より、下記住所に移転いたしました

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-3-1 麹町富士ビル 5 階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp